

## ロシア政府関係者の訪口打診に決断

### 日露友好推進協議会の設立を提案へ

日本の右翼団体・日本青年社の一行31人が17日、北方領土問題をロシア当局と話し合うため成田空港を飛び立っていたことが明らかになった。日本青年社が17日にホームページ上で明らかにした。

一行の訪問先は、モスクワ・クレムリン、外務省、国防省、プリマコフ前首相との会談、サンクトペテルブルグ大学、共産党本部などで、要人との会談や講演も予定している。北方領土問題解決に向けた日本青年社の意見・要望書などを手渡す計画だ。

同会は昭和53年8月11日、尖閣諸島の魚釣島に上陸して灯台を建築した事で知られているが、今回のロシア訪問は3年前にロシア政府関係者からの訪問の打診を慎重に検討した結果、決断したものという。「日露友好推進協議会の設立」などを提案する予定だ。(文責花うさぎ)。

「よーめんのブログ」さんで知った情報ですが、いや〜ビックリしました。本当かな?というのが第一印象でしたが、日本青年社のHPには、その辺の詳しい情報が公開されています。

<http://www.seinensya.org/>

こうなると単なる右翼団体とはとても云えませんね。少しでも良い方向に前進することを祈っています。正直、この団体をかなり見直しました。



講演会が予定されているサンクトペテルブルグ大学

## 新時代を拓くロシア訪問に関して

—日本青年社の総意に基づく意見・要望—

皆様こんにちは。 本日は、このような素晴らしい場所において、私達の意見やその想いを述べる機会を作っていただきました各関係各位の皆様方、そして会場にお集まりの皆様方に心より感謝と御礼を申し上げる次第であります。

私達は日本国内において、日本の伝統精神や文化を尊重する立場から、もっとも急進的な意見や、行動をとると目されている、いわゆる右翼と呼ばれている民族派団体の日本青年社と申します。

私達は日本国憲法に則り、思想と信仰の自由を与えられております。私達団体は日本国政府総務省より許可を受けた認可団体であります。

この度、私達は日本国と貴国ロシアとの相互理解を深め、更なる友情のもと、両国の発展と世界の平和に、寄与するという目

的を持って参りました。

その事が、これからも続く子供や孫の代にとって、幸せなことと信じるからであります。しかし、両国にとって避けては通れない重要な課題が残されていることも、事実であります。

それは、わが国日本の北に位置する領土問題であります。

かつてソ連邦時代に日ソ共同宣言が取り交わされました。

その後ロシア時代となり、元大統領であるエリツィン氏、元日本国総理大臣 橋本龍太郎氏の間でも領土問題が話題に上りました。

しかし、その後なんら進展なきままに、現在にいたっております。

我が国の漁民は、不安と恐怖の中で漁を行い危険な日々を過ごしているのが現実であります。

私達は、一日も早い問題解決を望んでおります。

戦後六十有余年を過ぎた現在、北方の領土には貴国の多くの人達が生活をし、現在はそこが生まれ故郷となっている方々も沢山おります。

そしてまた、その地には先祖を敬い、慰霊するための大切な墓地も数多くあることだと思えます。

私達は、我が国の漁民の安全を願うとともに、貴国の島民の皆様の幸せをも願うものであり、交渉が進展しなかったのは、長きに渡り外交交渉を中断してきた日ロ両国の政府、外務官僚、強いては日ロ両国民の責任でもあることを痛感しているところであります。

時代は二十一世紀を迎え、世界は大きくグローバル化に向っております。

わが日本国内においても貴国ロシアの方々と結婚し、両国の宝とも言うべき子供たちも見かけるようになりました。大変素晴らしく美しい光景であります。

今後、益々進展していくであろう両国の関係は、なんら障害の無い晴れやかなものとしなければなりません。

私達は、両国の経済発展はもとより、両国の文化、風土、歴史、心情等々多岐にわたり、理解を重ね、揺るぎない友好関係を築き上げることを目的としたいものであります。

ここで私達は一つの提案をさせていただきます。


日本国とロシア国が深く手を取り合い、前進する為の日露友好推進協議会を設立し、相互が親しく行き交い、もっともっと深い関係を構築することが不可欠であると思えます。

そうすれば、両国間に横たわる諸問題等については様々な方法論を以って解決できるものと信じております。

日露友好推進協議会の設立によって、両国の関係が深まり、数々の経験が大きな知識となり、必ずや両国の友好と発展をなし得るものと、私達は確信するものであります。

最後となりますが、私達の基本的立場は四島返還を強く求めるものであります。

しかしながら、日ロ間における領土問題が解決されないまま長い年月を経過した現在、新たなる方策をもって問題解決に取り組むことを目的とするものであります。 以上

カテゴリ: [政治も](#) フォルダ: [指定なし](#)   

コメント(8)

タグ: [日本青年社](#) [北方領土](#) [魚釣島灯台](#) [クレムリン](#) [外務省](#) [国防省](#) [プリマコフ前首相](#) [サンクトペテルブルグ大学](#) [共産党本部](#)

コメント(8)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by **花うさぎさん**  
・イベントガイド

2009/03/18 17:46  
2009/03/18 20:00

新しい時代を創る - 教育を考える大会

日時 平成21年4月25日(土) 13時30分~16時00分

場所 神奈川県総合薬事保険センター

[横浜市磯子区西町14-11](#) TEL 045-761-4046

[JR京浜東北線根岸線「根岸」駅](#) 徒歩3分

内容

講師: 中山成彬(衆議院議員、元文部科学大臣)

小林 正(元参議院議員、教育評論家)

伊藤玲子(建て直そう日本・女性塾幹事長、元鎌倉市議会議員)

参加費 1,000円

主催(財)新教育者連盟 神奈川支部

後援 [日本会議](#)神奈川、[神奈川草莽議員の会](#)

連絡先坪田陽子 TEL 045-973-6586 新垣敬輝 TEL 080-1086-0020



Commented by **風来坊さん**

日本青年社の活動には以前から関心を持っており、時々HPを覗いています。  
今回も良い仕事をしてくれました。こうした団体があることを心強く思います。



Commented by **花うさぎさん**

To 風来坊さん こんにちは。

2009/03/18 21:12

>日本青年社の活動には以前から関心を持っており、時々HPを覗いています。

それは凄いですね。

>今回も良い仕事をしてくれました。こうした団体があることを心強く思います。

同意します。こういう団体なら必要な存在だと私も思います。



Commented by **しゃちょうさん**

「日本青年社」その様な団体がある事すら、知りませんでした。

2009/03/18 22:13

今後は、注目して行きたいと思います。



Commented by **花うさぎさん**

To しゃちょうさん おはようございます。

2009/03/19 05:11

>「日本青年社」その様な団体がある事すら、知りませんでした。

普通は右翼・民族団体に詳しい人はいないでしょう。私は以前に尖閣で灯台を建設したビデオを何処かで見ていて凄く印象に残っていたのです。

>今後は、注目して行きたいと思います。

そうですね、但し「四島返還」の基本線はしっかり守って欲しいです。



Commented by **AWさん**

TV、新聞は全く取り上げていなかったように思います。

サヨクの偽善行動は取り上げても、右翼の愛国行動を取り上げないのは放送法違反でしょう。

2009/03/24 13:28

良い方向に話が進めばよいと思っています。



Commented by **花うさぎさん**

To AWさん

2009/03/24 15:24

>サヨクの偽善行動は取り上げても、右翼の愛国行動を取り上げないのは放送法違反でしょう。

違反行為が多すぎて感覚が麻痺している印象ですね。特にテレビ朝日とTBSはマジでなんとかしないと。

>良い方向に話が進めばよいと思っています。

本当ですね。帰国報告が楽しみです。



Commented by **花うさぎさん**  
日本青年社 ロシア訪問団・帰国報告

うっかりしてましたが、詳しい報告がホームページにありました。かなり精力的にいろいろな方と面会会談したようです。ご苦労様でした。

#### ロシア連邦外務省を訪問

次は最大の山場、外務省である。長い階段と長い廊下を歩き、アジア太平洋諸国局に到着した。余り広くはないが、我々の人数分の茶菓子が用意してあった。

程なくロシア連邦外務省、アジア太平洋諸国局局長のガルージン・ミハイル氏が現れた。外務省の局長だけあって日本語で挨拶を行った。我々日本青年社の事も良く知っている様であった。彼は北方領土問題の最高責任者であり、この間の日ロの交渉の現状を説明してくれた。麻生首相とのサハリン会談、小泉元首相とのモスクワ会談、藪中事務次官との戦略的会談、特に藪中氏との対談は我々と会う直前まで行われていたようだった。

『かつて「領土問題は存在せず」としていた時代もあったが、現在は前向きに対応している。皆さんの精力的な活動に対して敬意を表します。この問題は次世代に先送りすることなく、我々の世代で解決しましょう。しかし領土問題は国民的合意が必要ですので、もう少し時間をいただきたい』

この言葉を聴いて感動しないものがあるだろうか。ロシアの最高責任者が問題解決を断言したのである。又、日本青年社に対しては「かつての日本青年社でしたら、我々はビザも発行しないし、このように会談することも無かったでしょう。しかし現在の日本青年社はロシアを理解しようとしてくれている。良い友人となれるでしょう」と友好を示してくれた。

<http://www.seinensya.org/>